

2021年度（令和3年度）事業報告書

特定非営利活動法人 ぱっぷす

1 事業の成果

①. AVや性産業に取り込まれた人などへの相談支援事業

主に10代～20代のデジタル性暴力・性的搾取に遭われた方の総合的な支援体制の構築と拡充を行った。前年度は、281件だった被害相談が今年度は643件と急増した。リベンジポルノ・児童ポルノ・AV出演強要に係る性的画像記録など21,876件の削除要請を行い、同時に、被害者の意思を確認した上で法執行機関と連携した案件は10件、逮捕に至ったケースは9件となった。被害相談を通じて、加害実態を明らかにし、性的搾取を容認する社会を変化させ、政策に反映させていった。法務省の法制審議会（性犯罪関係）からヒアリングを受け政策課題を提供、ロビー活動を通じて、プロバイダ責任制限法の付帯事項ではあるが、初めて「性暴力」の言葉を盛り込めた。2022年4月の民法成人年齢が20歳から18歳に引き下げに伴い性的搾取の更なる低年齢化が懸念されたことから、3月以降は「高校生AV出演解禁を止めてください」キャンペーンを展開し、AV出演被害の防止・救済するための法律制定を目指した。支援が必要であるにもかかわらず届いていない若年層の方に対し夜回りや声掛けなどを行い、情報・支援を届けるアウトリーチ活動を新宿歌舞伎町・オンライン上で実施した。今年度も特にコロナ禍にあり、性的搾取に関わる相談の中に、性病、妊娠などの健康面への心配、居所、身分証明書を取得できないため、「部屋を借りることができない」、「就職することができない」、「保険証がなく医療を受けることができない」などの様々な不安・相談が寄せられ対応に追われた。次年度は、寄せられる多くの相談に対応すべく組織基盤強化が求められている。

②. 研究会やシンポジウム開催による社会啓発事業

講演活動を通じて・大学・高校・地域などで、計20回以上開催した。デジタル性暴力被害の認知度向上のためにオンラインで削除要請事業報告会を開催。SNS事業者と一緒にデジタル性暴力の予防啓発イベントを実施することができた。東アジア地域と連携しながらデジタル性暴力・性的搾取の被害実態について意見交換を行った。法制度や関係施策の改善に積極的に参加し、デジタル性暴力を容認しない社会基盤及び社会風土を醸成するための啓発を強力に推進した。

③. 上記事業に関する報告書等出版事業

書籍「ポルノ被害の声を聞く デジタル性暴力と#MeToo」を出版予定。独立行政法人WAM助成事業として、「意に反して拡散した性的画像記録の削除要請事業報告書」を作成。6月以降刊行予定。

④. ネット・メディアによる広報活動

デジタル性暴力・性的搾取に関する出来事・月間等があるときに、主要メディアから取材に丁寧に対応した。当団体ではNHKと協力し2021年から児童のグルーミング被害について実態調査を約2カ月間行い、調査結果がクローズアップ現代+、ニュースウォッチ9で報道された。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款に記載された事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(円)
-------------	------	------	------	-------	---------	---------	--------

AVや性産業に取り込まれた人などへの相談支援事業	1. 相談支援事業 (性的搾取・デジタル性暴力)	365日24時間対応	相談者が相談しやすい場所・弁護士事務所等	常勤5名・非常勤6名・フリーランス6名	性的搾取・デジタル性被害を受けている方	643人	21,000,000
	2 性的画像記録の削除要請事業	通年	当団体事務所	常勤1名 非常勤5名		延べ人数 3567人	10,000,000
	3 性的画像記録の削除要請システム開発事業	通年	外注	外部委託 1名			1,000,000
	4 カウンセリング等事業	通年	相談者が相談しやすい場所	常勤1名、非常勤1名	当団体に相談を寄せられた方	10人	200,000
	5 就労支援・社会復帰事業	通年		常勤1名		9人	2,000,000
	6 当事者（中学生・高校生・若年女性・大人）がアクセスしやすいシステム開発	通年	ウェブ等	常勤1 ボランティア3名	性的搾取・デジタル性被害に遭われた方	--	1,000,000
人権侵害や性暴力にたいやすい知的障害を持った人への支援事業	性暴力や性犯罪に巻き込まれたいやすい障害を持った人へのアプローチや支援を行う	随時	新宿歌舞伎町・オンラインによるアウトリーチ活動	常勤3人・パートタイム3人	生きづらさや障害を持った方。生活困窮者		20,000,000
研修会やシンポジウム開催による社会啓発事業	1. 性被害の現状や課題を伝える・政策提言	随時	メディア対応は随時	6人	性被害にまつわる	1000	4,000,000
	2. 出前講座の実施	随時	は随時招聘があった毎	常勤3人		1000	
	3. 性的搾取を無くすための加害予防教育に関するイベント	随時	ZOOM	4人		200	

実践を踏まえた調査・研究事業	相談事業等から見えてきた新たな問題を理論的活動として実践していく		当団体事務所等	6人	人権侵害に関心のある人		300,000
	活動報告書の作成			8人			500,000
	削除要請事業報告書の作成	2021年7月発行		5人			520,000
特定非営利活動に係る事業計							60,520,000

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(円)
出版物等の書籍・物品販売事業	当団体や当団体の社員が関わって出版した書籍やシンポジウムの報告書等の販売	随時	イベント会場等	0	性的搾取の問題に関心のある方		0
ネット・メディアによる広報活動	メルマガ配信	毎月	当団体事務所等	4人	国内外	不特定多数	0
	ツイッター配信	随時					
	フェイスブック配信	随時					
	インスタグラム配信	随時					
	多言語配信	随時					
	Google検索結果	随時					
(2) その他の事業計							0
(1) + (2) 総計							60,520,000

令和3年度活動計算書

特定非営利活動法人 ぱっぶず

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
【A】 経常収益					
1 受取会費		1,032,100		0	1,032,100
正会員受取会費	21,000				
賛助会員受取会費	1,011,100				
2 受取寄附金		6,860,463		0	6,860,463
受取寄附金	6,860,463				
3 受取助成金等		56,380,000		0	56,380,000
受取民間助成金	30,380,000				
受取助成金等	26,000,000				
4 事業収益		1,263,156		0	1,263,156
自主事業収益(講師派遣等)	1,263,156				
5 その他の収益		185,842		0	185,842
受取利息	45				
雑収益	185,797				
経常収益計		65,721,561		0	65,721,561
【B】 経常費用					
1 事業費					
(1) 人件費		36,595,995		0	36,595,995
給料手当	33,133,525				
役員報酬	0				
退職給付費用	0				
法定福利費	2,375,754				
通勤費	1,074,567				
福利厚生費	12,149				
(2) その他経費		24,406,748		0	24,406,748
設備費	165,000				
業務委託費	10,988,693				
謝金	577,609				
印刷製本費	127,787				
会議費	324,655				
旅費交通費	422,883				
通信運搬費	914,669				
消耗品費	6,128,069				
水道光熱費	422,271				
地代家賃	2,694,051				
減価償却費	858,266				
保険料	61,530				
租税公課	28,250				
研修費	1,000				
新聞図書費	2,990				
広告宣伝費	165,000				
雑費	524,025				
事業費計		61,002,743		0	61,002,743
2 管理費					
(1) 人件費		1,408,838		0	1,408,838
役員報酬					
給料手当	1,408,838				
(2) その他経費		1,913,727		0	1,913,727
通勤費	41,664				
業務委託費	246,730				
旅費交通費	336				
通信運搬費	909				
消耗品費	9,469				
地代家賃	530,000				
租税公課	17,356				
支払手数料	1,067,063				
雑費	200				
管理費計		3,322,565		0	3,322,565
経常費用計		64,325,308		0	64,325,308
当期経常増減額【A】－【B】・・・①		1,396,253		0	1,396,253
【C】 経常外収益					
	0				
経常外収益計		0		0	0
【D】 経常外費用					
	0				
経常外費用計		0		0	0
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②		0		0	0
経理区分振替額・・・③					0
税引前当期正味財産増減額①+②+③・・・④		1,396,253		0	1,396,253
法人税、住民税及び事業税・・・⑤					70,000
前期繰越正味財産額・・・⑥					9,707,332
次期繰越正味財産額④－⑤+⑥					11,033,585

令和3年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 ぱっぷす
(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	184,619	
ゆうちょ銀行(法人)	3,864,573	
ゆうちょ銀行(メイン)	2,517,217	
ゆうちょ銀行(振替)	3,895,433	
ゆうちょ銀行(WAM)	6,491	
みずほ銀行	1,648	
三菱UFJ銀行	71,766	
前払費用	129,800	
仮払金	708,261	
流動資産合計・・・①		11,379,808
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		
附属設備	2,101,734	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	2,596,667	
借地権		
(3) 投資その他の資産		
敷金	990,000	
固定資産合計・・・②		5,688,401
【A】 資 産 合 計 ①+②		17,068,209
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
未払金(クレジットカード)	346,094	
未払金(その他)	4,332,395	
預り金(住民税)	0	
預り金(源泉所得税)	1,286,135	
未払い法人税等	70,000	
流動負債合計・・・③		6,034,624
2 固定負債		
固定負債合計・・・④		0
負債合計③+④		6,034,624
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額		9,707,332
当期正味財産増減額		1,326,253
正味財産合計		11,033,585
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】		17,068,209

令和3年度 財産目録

特定非営利活動法人 ぱっぷす

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】	資産の部			
1	流動資産			
	現金預金			
	手元現金	205,892		
	ゆうちょ銀行(法人)	3,864,573		
	ゆうちょ銀行(メイン)	2,517,217		
	ゆうちょ銀行(振替)	3,895,433		
	ゆうちょ銀行(WAM)	6,491		
	みずほ銀行	1,648		
	三菱UFJ銀行	71,766		
			10,563,020	
	未収金			
	前払費用	129,800		
	仮払金	638,027		
			767,827	
	棚卸資産			
				0
	流動資産合計・・・①			11,330,847
2	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	車両運搬具			
				0
	什器備品			
	付属設備等	2,101,734		
			2,101,734	
	(2) 無形固定資産			
	ソフトウェア			
	性的画像記録の削除要請システム	2,596,667		
			2,596,667	
	借地権			
				0
	(3) 投資その他の資産			
	敷金			
	事務所	990,000		
			990,000	
	長期貸付金			
				0
	固定資産合計・・・②			5,688,401
	【A】資産合計①+②			17,019,248
【B-1】	負債の部			
1	流動負債			
	未払金			
	freeeVisaカード	346,094		
	法人税	70,000		
	諸口	3,924,700		
			4,340,794	
	預り金			
	源泉徴収税	1,309,332		
	住民税		1,309,332	
	前受金			
	受取民間助成金			
				0
	流動負債合計・・・③			5,650,126
2	固定負債			
	長期借入金			
				0
	退職給付引当金			
				0
	固定負債合計・・・④			0
	【B-1】負債合計③+④			5,650,126
	【B-2】正味財産合計【A】-【B-1】			11,369,122